昭.8.17
第2037号

ある。そして出征者の家族の慰藉と銃後の奉公の精神を高揚するのである。

◎お詫び◎

去る日方々を巡り歩いた大阪に於ける慰霊の大動員の模様を紹介する筆は、紙面の都合で一旦中止致します。

◎お詫び◎

前國連盟理事会の来阪の模様の続篇は、次号に掲載致します。

大正十五年八月十日

大阪支所長　藤　篠　一

米騒動記念第三回納涼会

米騒動記念第三回納涼会の案内状を同志に出す。

大阪市社会主義者一同連名で金八八八八円を寄附した。

米騒動記念第三回納涼会

盛田盛一郎

大正十三年八月十三日

財團法人協調會大阪支所

く大團圓の幕を閉じた。

何うして吾々は此の日が忘れられやう。

そこで吾々は一昨年以來本月の中旬をトして記念日となし、當時の犠牲者や同志が集つて座談會を催して來た。が、今年は七週年にもなるから少し趣きを變へて左記の日時場所に會合し、往年を回想して一夕の襟を開かうと思ふ。當日は幸ひ日曜日であるから何うか萬障を排して一人でも多くの同志や犠牲者を御誘引下さい。

當日は藤田浪人氏の「米騒動の教訓」と題する話や「入露失敗談」があります。猶ほヒョットしたら某地に避暑靜養中の堺利彦氏も來阪出席「當時を回顧して」と云ふやうな話があるかも知れません。

更に來會者へは、唇に障つてもヒリツとする赤い、冷いものを差上げます。